



あづみのキッズ♡けある～むだより



安曇野市赤十字病院 病児・病後児保育室 あづみのキッズ♡けある～む

2025年 夏号

毎日暑い日が続いていますね。保育室でも、こまめな水分補給や十分な休息をとりながら、お子様の体調の変化に気を配っていきたいと思います。もし、お子様の体調不良によるお困りごとがありましたら、気兼ねなくけある～むにお問い合わせ下さい。

夏に流行しやすい病気と利用基準

	ヘルパンギーナ	手足口病	アデノウイルス感染症
主な症状	発熱、喉の痛みと水疱、頭痛など。	口の中・手のひら・足の裏などに水疱を伴う発疹ができる。	高熱が続き、喉の痛み、食欲不振、結膜炎に伴う目の充血がみられる。 感染力が強い。
利用基準	解熱後 24 時間が経過していれば利用可能	発疹・水疱の消失後は利用可能	解熱後 24 時間が経過していれば利用可能

流行が予想される夏の代表的な病気と、病後児保育室の利用基準についてお知らせします。ご予約される際の参考になると幸いです。

さまざまな症状のお子さんが利用する施設であるため、利用基準についてはご理解のほどよろしくお願いいたします。

おねがい



- ・持ち物すべてに記入をお願いします。
- ・暑くなりますので、水分は多めに持たせていただくと助かります。
- ・持ち物一覧表に記載のある「支給認定証」ですが、初回のみ、年1回の提出となります。継続して利用される際は有効期限が切れていないかご確認ください。

4・5・6月の利用状況

